



「新人流時代における多文化共生社会に向けた
多様な教育のあり方について」

2024年6月17日（月） 笹川平和財団

さぽうと21という「週末のご近所さん」



社会福祉法人さぽうと21

学習支援室チーフコーディネーター

矢崎 理恵

1 「さぽうと2 1」という団体のこと（はじまりのころ）



活動の始まりは1979年 相馬雪香(当時67歳)が「インドシナ難民を助ける会」を設立

1 「さぽうと21」という団体のこと（数年前）



40年余り、難民等の小中学生、高校生、専門学校生、大学生、大人達を対象として
① 就学支援事業 ② 学習支援事業 ③ 生活相談事業 を昔も今も続けている

特徴 その1

「共に歩み続ける／伴走」

近すぎず遠すぎずの距離で
去る者は（あまり）追わず、来る者は拒まず

特徴 その2

「ふわっとまるっと／包括」

子どもだけでなく親も、親だけでなく子どもも
学習支援だけでなく生活相談も、地域を超えて

特徴 その3

「内も外もみなで共に／連携」

1人ではできないけれど、2人でならできるかも
わたしたちだけではできないけれど、
他のだれかと一緒ならできるかも

さぽうと21で学んだ/学んでいる人たちに

さぽうと21はどんな場所？

週末だけの、電車で訪れる「ご近所さん」

😊 実家

つながりのキーワードは「学び」

😊 子どもから年配の方までがいて、きれいでカラフルな花を育ててくれている場所
子どもは花、教育は水

😊 魚をくれるのではなく、魚の釣り方を教えてくれる場所

😊 誰に相談したらいいかも分からないことを相談する場所

目指すぞ！ その1

「一人も 取り残さない」

「仕組み」と「理解者」と「お金」が必要です。

拠点型 + オンライン型 + オンライン / 拠点型 + アウトリーチ型

宇都宮教室

小山教室

花見川教室

【拠点5】
たてばやし教室
ロヒンギャ難民二世

2022.2～

【拠点6】
がくぷろ教室
アフガン難民二世

2023.6～

夏休み・春休み集中学習支援教室

親向け・若者向け 生活勉強会

教材の無料公開

オンライン型

拠 点（教室）型

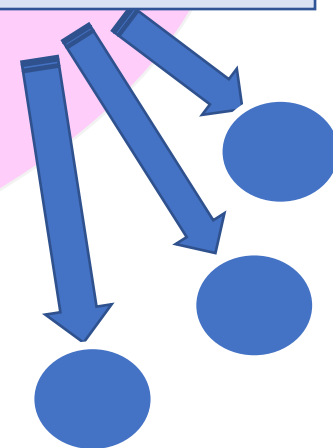
【拠点1】
目黒教室
子どもから大人まで
毎週土曜日

【拠点2】
錦糸町教室
子どもから大人まで
毎週日曜日
2017.4～

【拠点3】
稲毛・行徳教室
ムスリムの小中学生
土曜日か日曜日
2020.7～

【拠点4】
高洲教室
第三国定住 小中学生
平日の夕方＋土曜日
2021.4～

アウトリーチ（出張）型



目指すぞ！ その2

「本領発揮」

参加する人たち皆が、自分の良さや他の人の良さを発見し、「こんなことしたいんだけど…」と口にしてみる事ができる。自分の一番得意な部分で輝ける。

とはいえ.....

.....やっぱり

いいね！

いいね！

いいね！



「学校」で輝き、認められ、

「地域」で見守られ、成長する

でも今はちょっと
それが難しいとか感じるなら……



「第3の場所」も悪くないかも

目指すぞ！ その3

「とりあえず、いつもそこにある」

「わ、●●さん、ひさしぶり～ 元気だった？」と
普通に自然に言葉が交わせる。わちゃわちゃ人がいる

いつも立ち返る一節

「両親がベトナム人で、私は日本で生まれ育ちました」。このように自己紹介すると、だいたいこんな言葉が返ってくる。「日本で生まれ育ったなら、日本人と同じですね」。「確かにそうですね」と、愛想笑いを浮かべながらも、私はいつも、なぜかこの言葉にそっと傷つくのだった。

谷川ハウ（グエン ティ ホン ハウ）さん「「違っていても仲間」という地平」より

（明治学院大学教養教育センターブックレット3『多文化共生を学び合う 配慮と偏見のはざまで-「内なる国際化」に対応した人材の育成-』（2018年 明治学院大学教養教育センター・社会学部）

社会福祉法人さぽうと21



〒141-0021

東京都品川区上大崎2-12-2ミズホビル6階

TEL : 03 - 5449 - 1331

E-mail : info@support21.or.jp

平日 10:00 ~ 18:00

Support 21 Social Welfare Foundation